

北里大学病院・北里大学東病院(旧)を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

| | |
|-------------------------------------|--|
| 研究課題名 (受付番号/承認番号) | 膵癌 K-ras 変異をはじめとした遺伝子変異の臨床的意義の解明 |
| 当院の研究責任者 (所属・職位) | 医学部一般小児肝胆膵外科学 教授 隈元 雄介 |
| 他の研究機関および 各施設の研究責任者 | なし |
| 本研究の概要・背景・目的 | 膵癌は予後不良な難治癌であり、これは、初期症状が少なく早期発見が困難であることや、有効とされる抗癌剤が少ないことが原因として挙げられます。肺癌や大腸癌等で行われている遺伝子異常に基づいた分子標的薬による治療も殆ど行われていませんが、一部の患者様では治療標的となり得る様々な遺伝子異常が認められることも明らかになってきています。この研究では、膵切除術時の手術検体を用いて遺伝子異常を解析し、患者様の診療録の情報より再発の有無や生存情報を調べます。対象となる遺伝子異常と、患者様の臨床経過を分析することで、これからの膵癌に対する診断や治療に役立つ情報を提供することが期待されます。 |
| 調査データ 該当期間 | 1986年4月1日から2025年3月31日までの情報を調査対象とします。 (※研究全体の実施予定期間ではなく、研究として収集する調査データの期間です) |
| 対象となる患者さま | 上記期間内に当院において膵癌に対し膵切除術が行われた方 |
| 研究の方法 (使用する試料等) | 過去に膵切除術の際に採取された組織検体を用いて、遺伝子変異の同定を行います。研究対象者となる患者様の診療録より診療情報を取得する以外、新たな通院や検査の必要はありません。 調査するデータは1986年4月1日から2025年3月31日までの間に北里大学病院・北里大学東病院で膵切除術を受けられた患者さんの血液検査や画像検査、病理検査、手術結果であり、予後に関しては2030年3月31日まで調査させていただきます。 |
| 試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法 | 他の機関への試料・情報の提供はありません。 |
| 個人情報の取り扱い | 利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。 |
| 本研究の資金源 (利益相反) | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。 |
| お問い合わせ先 | 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としますので、下 |

記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：
所属・職位：北里大学医学部一般小児肝胆膵外科学・助教
担当者：久保 任史(クボ ヒデフミ)
電 話：042-778-8111

備 考